

## 4. 駐日モンゴル大使よりのメッセージ

---

---

レンツェンドー・ジグジッド

Rentsendoo Jigjid

駐日モンゴル国特命全権大使

本日、名古屋大学主催の第5回東京フォーラムが成功裏に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

そして本フォーラムに参加する機会を与えて下さった平野真一名古屋大学総長を初めとする貴大学の関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

2007年は、モンゴル・日本外交関係樹立35周年という節目の年であり、両国間交流が活発に行われています。特に今年の春にモンゴル国大統領が日本国を訪問し、その際に「今後10年間のモンゴル・日本基本行動計画」が発表されました。また今年の夏に日本国皇太子殿下が初めて我が国にご訪問されたことは、両国国民の相互理解の深化と友好親善関係の拡大に多大なる影響を与えました。こうした背景の下で「第5回名古屋大学東京フォーラム」が開催されたことは、我々にとってもたいへん有意義なことでもあります。

今回のフォーラムを通じまして、アジア諸国における法整備の現状と名古屋大学の果してきた役割、今後の課題について貴重な知識を得られ、そしてまた、今後の協力体制についてもそれぞれの考え方を整理することができたと思います。

モンゴル国立大学法学部と名古屋大学大学院法学研究科は2000年に学

術交流協定を締結して以来、留学生・客員研究員の相互受け入れ、共同研究の実施、国際シンポジウムの開催など幅広く交流を深めてきました。また、大モンゴル国建国800周年の2006年にはモンゴル国立大学と名古屋大学との間で学術交流協定が締結され、モンゴル国立大学に名古屋大学日本法教育研究センターが開設されました。

この場を借りまして、モンゴル国の法整備と人材育成に対して安定的かつ確実に協力して下さっている名古屋大学の皆様に厚くお礼を申し上げます。

最後になりましたが、本フォーラムの参加者の皆様方のご健勝と名古屋大学の益々のご発展、そしてモンゴル国立大学と名古屋大学の協力関係のさらなる発展をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



レンツェンドー・ジグジッド大使（中央）、田中華子・名古屋大学モンゴル日本法教育研究センター講師（右から2人目）とモンゴル人留学生たち